

事務事業名		障がい等理解促進研修・啓発事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	障がい福祉係		担当課長名	青村裕子	
	施策	2 障がい者の社会参加と自立の推進					新規事業・継続事業		新規事業			
	基本事業	3 社会参加支援の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	4061	一般	3	1	2	障がい等理解促進研修・啓発事業						
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業				任意的事業・義務的事業		義務的事業	
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成26年度～年度		根拠法令 条例等	障害者総合支援法						
	実施方法		直営				事業分類		広報・広聴・啓発事業			
	リーディングプロジェクト		該当なし				市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
障がい等の理解を深めるための研修・啓発を通じて地域住民へ働きかけを強化するため事業を実施。		・理解促進講演会 市民を対象にして関係機関と連携のもと、理解促進のための講演会やシンポジウムを実施。 参加者数 精神障がい講演会 128人、発達障がいシンポジウム 148人 ・広報活動 広報さの12月号を利用し、相談先や佐野市の取り組みを掲載。						
・理解促進講演会 市民を対象とした理解促進のための講演会を1回開催。 ・発達障がい理解促進シンポジウムを1回開催。 ・広報活動 「広報さの」を利用した普及啓発活動を1回実施。		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		理解啓発事業参加者数	人		276	280	300	320
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
市民。		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		市の人口	人		121,522			
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
障がい者に対する理解が深まる。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		理解啓発事業参加者数/市人口	%		2.27			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)								
社会参加の機会が増える。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		広報等による啓発回数	回		31	46	48	50

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)		
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
投入量	国庫支出金	千円		74		74		74		74		74	
	県支出金	千円		37		37		37		37		37	
	地方債	千円											
	その他	千円											
	一般財源	千円		44		58		58		58		58	
	事業費計(A)	千円		0		155		169		169		169	
	事業費の内訳	千円	報償金		85		85		85		85		85
			印刷製本費		70		84		84		84		84
			人件費										
			その他										
人件費	千円		0		158		158		158		158		
トータルコスト(A)+(B)	千円		0		313		327		327		327		

事務事業名	障がい等理解促進研修・啓発事業	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	担当係	障がい福祉係
-------	-----------------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	これまででも障がい者の社会参加促進のための事業として、佐野医師会と共催で講演会等を実施していたが、平成26年度から予算化することができた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成25年4月から障害者総合支援法にもとづく地域生活支援事業の必須事業に位置付けられた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	—

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	今年度からの事務事業。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 市民に対して障がいの正しい理解、促進を図ることで、地域での生活の支えの一歩となり、社会参加がし易い環境づくりに結び付く。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 市民に対して、理解啓発事業を市が実施することは、当然。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 市民を対象として理解促進事業を行うものである。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 様々な支援団体・関係機関と協力しながら事業を実施することにより、参加者の増加・関心の高まりを醸成することができる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 必要最低限の経費で実施しているため、事業費削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
受益者負担を求める必要がない		理由・改善案 市民向けの理解啓発事業であり、受益者負担はあたらぬ。
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
障がいの自立の推進するための理解啓発事業であり、地域生活支援事業の必須事業でもあり事業終了はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 自立支援協議会を活用して様々な意見を組み入れることや、事業実施時のアンケートなどを行ない、参加者の声を取り入れた企画を行うことで、参加者の増加を図って行く。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			